

空気圧制御では国内唯一のピッチングマシンTOPGUN 野球に加えて社会の安全や地球環境にも貢献

空気圧制御のノウハウを基に開発した「エア式ピッチングマシンTOPGUN（登録商標）」を開発・製造・販売している専門メーカー。エア式によるピッチングマシンの製品化は国内唯一である。この技術を使ったグラウンド用エア式ピッチングマシンやバッティングセンター用は、野球チームの打撃向上や店舗の売上向上に貢献している。また本性能や特性を基盤とした技術は、公官庁を含めさまざまな分野においても利用され、広く国内外に活用されるなど、今後は、産・学・官が一体となった研究開発の役割を担うと期待される。

所在地 福岡県大野城市仲畑2-3-38
電話/FAX 092-571-3040 / 092-572-5932
URL <https://www.pmx-topgun.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 田中 完二

設立 1983年
資本金 1,000万円
従業員数 7人



海外への納入実績により近年では国外からの問い合わせや依頼が増加中

2019年に福岡県が実施したタイ経済ミッション参加を機に初めてバンコクへの輸出を実現。新設の総合スポーツ施設内にあるバッティングセンターに2台のマシンを設置。またタイの新しいテニスクラブの情報を得るなど、テニスマシンの販路開拓も予定されている。タイ以外にも米国、中国、韓国、ベトナム、ブルネイ等の多くの国から引き合いはあったものの、現在はコロナ禍で商談は停滞中。バッティングマシンを応用した技術は、他国で生まれたスポーツの発展にもメイドインジャパンの製品で貢献する。



ピッチングマシンを応用したテニスマシン

同社技術の活用で自治体・公官庁等関連機関と連携、異業種への展開で新分野開拓

東京消防庁や水産庁に同社の空気圧ボール発射装置が採用されている。特に近年日本周辺海域での外国船の違法操業に苦慮している水産庁は、武器使用が認められておらず、違法操業証拠となる塗料入りボールを違法船に当てるが、命中率が低く連続発射に時間がかかるなど課題が多かった。これに対して同社の技術は火気やガスを利用しないため、武器と違って制限要素がなくスピードや連続発射も可能である。今後はスポーツ用途にとどまらず、同社技術により海洋資源の確保や国内漁獲量の向上なども見込まれる。



水産庁取締船搭載多目的ボール発射装置

従来のマシンでは困難だったエア式ピッチングマシンの画期的な機能とサービス

各種産業の耐久試験装置、検査装置などの開発要請依頼など民間、公的機関等多方面からの活用、事業化の依頼も多く受けている。同社の技術の応用はピッチングマシンにとどまらず多方面において応用ができる可能性を大いに秘めている。ピッチングマシンとしてはボールの速度、回転数、高さ(ストライクゾーン内)を任意にしかも瞬時に変更し投球の3秒前までに設定した投球を1球毎投げ分けることができ、ランダム発生も可能という現在世界にない新型マシンの開発が進んでいる。



高性能空気圧式ボール発射装置